

## 写 楽しみながら撮影しよう 写真の撮り方学ぶ写真講座

イベントや市民活動の様子を魅力的に広報するための撮影方法を学ぶ写真講座が1月28日、市研修センターで開催されました。女性フォトグラファーターチームである「ふおと＊いる」の石川恵津子氏と齋藤早苗氏の2人が講師を務め、写真の撮り方や撮影することの楽しさを伝えました。参加者は「写真を撮ることがより楽しくなった。これからは被写体の種類を増やしていきたい」と抱負を語りました。



## 池 全国大会での活躍に期待 高剣道部が県大会準優勝

「令和元年度静岡県高等学校新人体育大会剣道競技」団体の部で準優勝した池新田高校剣道部が1月24日、柳澤市長を訪ねて喜びを報告しました。

同部は、準優勝したことで2月16日に開催された「第6回東海高等学校剣道選抜大会」と3月26日から28日に開かれる「第29回全国高等学校剣道選抜大会」への出場が決定。柳澤市長は「池新田高校の名を全国へとどろかせてほしい」と期待しました。

## 原 テントを使って屋内避難 原子力災害に備え手順確認

中部電力浜岡原子力発電所を中心とした31\*<sub>0</sub>圏内にある11市町で1月29日、発電所から放射性物質が放出されたことを想定した原子力防災訓練が実施されました。比木体育館では、空気で膨らませる放射線防護対策設備の「エアシェルター」を使った訓練を初めて実施。約160人が参加し、原子力防災用テントの展張や仮設ベッドの組み立てなど、資機材の取り扱い訓練を行いました。



## 救 最新の救助工作車を導入 救助活動で市民の命を守る

市消防本部の新救助工作車の引き渡し式が1月24日に執り行われました。救助工作車は、クレーンや大型照明、重い物を持ち上げる際に使用するウインチなどを備え、さまざまな救助事案に対応するための資機材、約130点を積載した救助専用の消防車両です。柳澤市長は「災害が多様化し、市民の消防に対する期待が高まっている。最新装備を活用して救助活動にあたってほしい」と激励しました。